

臨床心理学

科目責任者 野 畑 友 恵
学年・学期 1 学年・2 学期

I. 前 文

臨床心理学は、心理的問題を抱えた人の理解や支援について、その方法や実践を行う学問である。人の理解や支援において言葉は重要な働きを持っており、本授業では言葉の機能について考える。言葉は音や文字の組み合わせで意味を作り、実際に対象が目の前になくてもある状況と同じように扱われたり、実体のない「不安」や「関係」といった概念が存在するかのような影響をもったりする。このような言葉の機能は、人の行動や他者との関係形成に影響し、言葉の使い方によってポジティブな影響もネガティブな影響もあるため、言葉の機能を理解することによってうまく付き合うことにつながる。そこで事例を通して言葉の機能を理解し、言葉の使い方について考える。

なお、この授業の履修は6名までとする。また、心理学と医療（1学期）、発達心理学（3学期）と合わせて履修することはできない。

II. 担当教員

野 畑 友 恵（基本医学基盤教育部門）

III. 一般学習目標

言葉の機能を理解する。

IV. 学修の到達目標

1. 言葉が行動に与える影響を説明できる
2. 言葉が関係形成に与える影響を説明できる
3. 自分の考えを言葉で表現できる

V. 授業計画及び方法 *（ ）内はアクティブラーニングの番号と種類

（1：反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

2：ディスカッション、ディベート 3：グループワーク 4：実習、フィールドワーク 5：プレゼンテーション

6：その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
1	8	23	水	5	人の行動と医療	野 畑 友 恵	2
2		30	水	4	病気と人の行動		2
3	9	6	水	4	情報収集における会話		2
4		13	水	4	支援における会話		2
5		27	水	4	行動にアプローチする支援		2
6	10	4	水	4	医療者に対する支援と行動変容		2
7		11	水	5	まとめ		2

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

事前学習（15%）、授業での発言（35%）、事後学習（30%）、レポート（20%）で評価する。

Ⅶ. 教科書・参考図書・AV資料

[教科書]

指定しない

[参考書]

からだの病気のこころのケア 鈴木伸一 北大路書房 2016

Ⅷ. 質問への対応方法

質問は、授業の前後、研究室への来室、またはメールで受け付ける。

研究室への来室は、事前にメールで連絡することが望ましい。

Ⅸ. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	○
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	○
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎

Ⅹ. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

事前学習は、授業の中で確認、またはLMSに解説を掲載する。

事後学習とレポートは、LMSを使って個別にフィードバックする。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間 * () 内は必要な時間の目安

事前学習：資料を読み，自分の考えをLMSに記載する（15分）

事後学習：授業から学んだことを文章にまとめる（15分）

XII. コアカリ記号・番号

A-4-1, C-5-2, C-5-7, C-5-8